

平成25年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年8月9日

上場取引所 大

上場会社名 アプライド株式会社
 コード番号 3020 URL <http://www.applied-g.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 岡 義治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 坂井 雅実

TEL 092-481-7801

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	5,481	0.2	223		211		195	
24年3月期第1四半期	5,495	6.2	80		35		3	

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 197百万円 (%) 24年3月期第1四半期 2百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	144.86	
24年3月期第1四半期	2.74	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	11,389	3,407	29.3
24年3月期	12,280	3,673	29.3

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 3,332百万円 24年3月期 3,597百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期		30.00		50.00	80.00
25年3月期					
25年3月期(予想)		30.00		30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,620	1.0	5		25		10		7.40
通期	25,680	0.9	140	30.3	200	35.0	108	45.7	79.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無
(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	1,351,600 株	24年3月期	1,351,600 株
期末自己株式数	25年3月期1Q	398 株	24年3月期	398 株
期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	1,351,202 株	24年3月期1Q	1,351,202 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2 . サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資の持ち直しや震災復興需要等を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。欧州金融問題や円高の長期化等から、依然として先行きが不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは、商品力・技術力・提案力を活かし、グループ各社の強みを伸ばし、他社との差別化を明確にすることにより、顧客層の幅を広げ、事業の拡大を推進いたしました。

店舗展開におきましては、パソコン専門店「アプライド」26店舗、テレビゲーム専門店「シータショップ」15店舗、化粧品・雑貨専門店「ハウズ」4店舗を運営し、それぞれの専門店としての差別化を推進いたしました。

法人顧客向けにおきましては、大学・官公庁・法人のIT需要に即応すべく、営業所・出張所を新設し、営業拠点の拡充を行いました。大都市圏に核となる営業部を設置し、店舗展開を行っている地方都市を中心に営業所・出張所を開設いたしました。それにあわせ、人員の増強を行い、需要に即した営業体制を構築いたしました。また、高付加価値製品・サービスを提供することにより、他社との差別化を推進いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間による売上高は54億81百万円、利益面におきましては、個人消費低迷に伴う単価下落の影響や法人部門の強化に伴う一時費用の発生等により、経常損失は2億11百万円、四半期純損失は1億95百万円となりました。

セグメント別の売上高は次の通りです。

パソコン・ゲーム事業は、専門店としての品揃え、技術サービスの提供に注力することにより、他社との差別化を図り、売上高は51億99百万円となりました。

化粧品・雑貨事業は、美容家電を中心とした新規プライベートブランド製品の開発を拡大し、通販・卸売業の販売を強化することにより、売上高は2億9百万円となりました。

出版・広告事業は、情報誌の出版に加え、グループの持つデジタル系の強みを活かした企画本の発刊を行いました。加えて、デジタルサイネージレンタル事業や代理店事業等の強化により、売上高は72百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ8億90百万円減少し、113億89百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少6億17百万円と現金及び預金の減少94百万円によるものです。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ6億24百万円減少し、79億82百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少7億31百万円によるものです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ2億65百万円減少し、34億7百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少2億63百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は、29.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、概ね予想通りに推移しており、現時点では平成24年5月15日に公表いたしました通期の業績予想から修正を行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の見積額を期間按分して算定する方法によっております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社グループは、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間から、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,477	1,383
受取手形及び売掛金	1,778	1,161
たな卸資産	2,858	2,824
その他	317	325
貸倒引当金	10	7
流動資産合計	6,421	5,686
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,842	1,818
土地	2,481	2,481
その他(純額)	134	123
有形固定資産合計	4,457	4,423
無形固定資産		
	20	18
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,082	1,067
その他	298	192
貸倒引当金	0	-
投資その他の資産合計	1,380	1,260
固定資産合計	5,858	5,702
資産合計	12,280	11,389

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,935	1,203
短期借入金	800	700
1年内返済予定の長期借入金	771	826
未払法人税等	37	5
賞与引当金	172	92
ポイント引当金	81	93
その他	761	914
流動負債合計	4,559	3,837
固定負債		
長期借入金	3,320	3,447
長期末払金	403	403
退職給付引当金	227	229
負ののれん	30	15
その他	67	49
固定負債合計	4,047	4,144
負債合計	8,606	7,982
純資産の部		
株主資本		
資本金	381	381
資本剰余金	403	403
利益剰余金	2,824	2,561
自己株式	0	0
株主資本合計	3,609	3,345
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	13
その他の包括利益累計額合計	11	13
少数株主持分	75	75
純資産合計	3,673	3,407
負債純資産合計	12,280	11,389

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	5,495	5,481
売上原価	3,919	4,046
売上総利益	1,575	1,434
販売費及び一般管理費	1,656	1,657
営業損失()	80	223
営業外収益		
受取利息	3	2
負ののれん償却額	14	14
その他	44	12
営業外収益合計	62	29
営業外費用		
支払利息	16	17
その他	0	0
営業外費用合計	17	17
経常損失()	35	211
特別利益		
退職給付制度改定益	9	-
特別利益合計	9	-
税金等調整前四半期純損失()	26	211
法人税、住民税及び事業税	3	6
法人税等調整額	27	22
法人税等合計	24	16
少数株主損益調整前四半期純損失()	2	195
少数株主利益	1	0
四半期純損失()	3	195

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	2	195
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	2
その他の包括利益合計	0	2
四半期包括利益	2	197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3	198
少数株主に係る四半期包括利益	1	0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。